

令和5年度 学校だより 11月号 10月31日発行

横浜市中区山元町3-152  
電話 641-4857



# やまもと

横浜市立山元小学校  
校長 前島 潤

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

## 学びと成長

学校長 前島 潤

秋がぐっと深まり、農園の秋冬野菜たちは順調に大きくなっています。12月の収穫祭が楽しみです。

私が山元小に着任して4年目になりますが、今年はなぜかプール脇のクヌギにドングリがたくさん付きました。「一本の木からこんなに。」と思うほどの数です。猛暑と関係があるように思い、調べてみたのですが、クヌギは、5～7年ほどの周期でドングリが豊作となるようです。ネットを検索して得た情報ですので、本当かどうか自分で確かめたいのですが、5～7年待たなければなりません。私の中では、本当の解決に至っていません。

4年2組の子どもたちが、総合的な学習の時間にグリーンカーテンづくりに取り組みました。「校庭に日かげが少ない。」「最近の夏はとても暑い。」「もっと夏を快適に過ごせないかな。」「学校みんなの役に立ちたい。」という思いから取り組んだプロジェクト。その解決方法がグリーンカーテンでした。

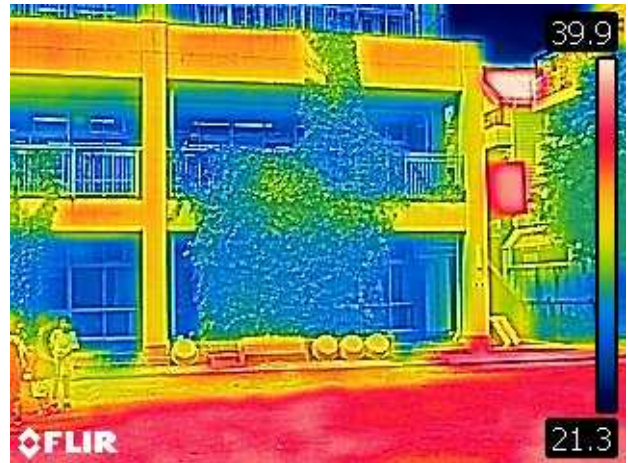
子どもたちがグリーンカーテンづくりを選んだのは、担任やネット検索などの情報から。その効果について確かな自信はまだありませんでした。

つくるのに必要な情報を集め、育てる植物を選定し、適した場所を調査したう



えで、実行に移りました。外部講師として土木事務所の方に来校いただき、土づくりなど、栽培に関するアドバイスをいただきました。大変だったのは水やりです。夏休みも子どもたちが当番活動としてがんばりました（担任もがんばっていました）。ヘチマ、ツルレイシ、ヒョウタン、アサガオたちは順調に伸びていき、夏休みが明けると、校舎3階まで達していました。見事なグリーンカーテンです。

さて、その効果はいかほどなのか。子どもたちは、確かめ始めました。1階の教室で生活している1年生の評価は、「日かげになって涼しいよ。」など上々です。温度計でもその差を確認したのですが、さらに科学的に確かめるため、再び土木事務所の方に来校いただき、サーモカメラでグリーンカーテン周辺を撮影していた



いただきました。この日は、グリーンカーテンの温度が22℃、直接日光が当たっている校舎の温度が30℃という結果になりました。また、グリーンカーテンが覆っている校舎の温度も低いことが分かりました。

このプロジェクトを通して、子どもたちはグリーンカーテンの効果について実感を伴いながら理解し、自分たちの力で問題を解決できた達成感、学校のために活動できたという有用感を持ちました。それは、朝会で、全校の子どもたちに自分たちの活動の成果を伝える姿に表れていました。

子どもたちは、日々、学びを通して成長しています。特に、グリーンカーテンのプロジェクトのように、主体的に探究的に、さらに仲間と協働的に学び、問題を自力解決できたときの成長は目を見張るものがあります。

11月11日(土)には、本校の研究発表会があります。本校の教職員は、日々、子どもたちの成長を願って授業づくりに取り組んでいます。社会科・生活科の授業を通して、本校の子どもたちのよさ、成長を来校していただいた市内、市外の先生方に感じていただける一日になると思います。